

「子どもの事故防止合同研修会」の開催について

令和元年8月29日
広域医療局

全国で毎年約300名の子どもが、窒息や溺水、転落をはじめとする事故等により亡くなっています。消費者庁では徳島県を実証フィールドとして「子どもの事故」に関する様々な取組を行っており、その成果を関西全体に広げ、事故予防への理解をさらに深めていただくため、関西広域連合と消費者庁とが連携した合同研修会を下記のとおり開催します。

記

1 開催日時

令和元年10月10日（木） 14時～16時（13時30分受付）

2 開催場所

関西広域連合本部事務局 大会議室
（大阪府大阪市北区中之島5丁目3番51号 大阪府立国際会議場11階）

3 対象者

構成府県市職員、医療関係者等 約80名程度

4 研修内容

（1）講演

演題：「妊娠期から伝えたい乳児の事故防止：
自治体の母科学級を用いた事故予防教育の可能性」

講師：東京大学大学院 医学系研究科
健康科学・看護学専攻 地域看護学分野
特任助教 本田 千可子 氏

（2）報告

内容：「消費者庁における子どもの事故防止に向けた取組」

講師：消費者庁消費者安全課長 鮎澤 良史 氏

子どもの事故防止 合同研修会

「子どもの事故防止」については、政府では関係府省庁が連携した活動をしており、消費者庁ではとくに未就学児の事故防止に重点を置いた取組を実施しています。その一環として、乳幼児や保護者と接する医療機関や保健所等における事故予防への取組をさらに進めるため、合同研修会を開催します。

保健所の母親学級での事故予防教育についての手法や調査研究、消費者庁消費者行政新未来創造オフィスが、徳島県内を実証フィールドとして展開する「子どもの事故防止プロジェクト」の取組についてご紹介します。

参加
無料

日時

令和元年 **10月10日**(木) 14:00~16:00 (13:30受付)

場所

関西広域連合本部事務局大会議室(大阪府立国際会議場11階)
大阪市北区中之島 5 丁目 3 番 51 号

内容

講演：「妊娠期から伝えたい乳児の事故防止：
自治体の母親学級を用いた事故予防教育の可能性」
14：00～15：15

講師：東京大学大学院 医学系研究科
健康科学・看護学専攻 地域看護学分野
特任助教 本田 千可子 氏 写真

報告：「消費者庁における子どもの事故防止に向けた取組」
15：20～16：00

講師：消費者庁 消費者安全課長 鮎澤 良史 氏

主催：関西広域連合 共催：消費者庁

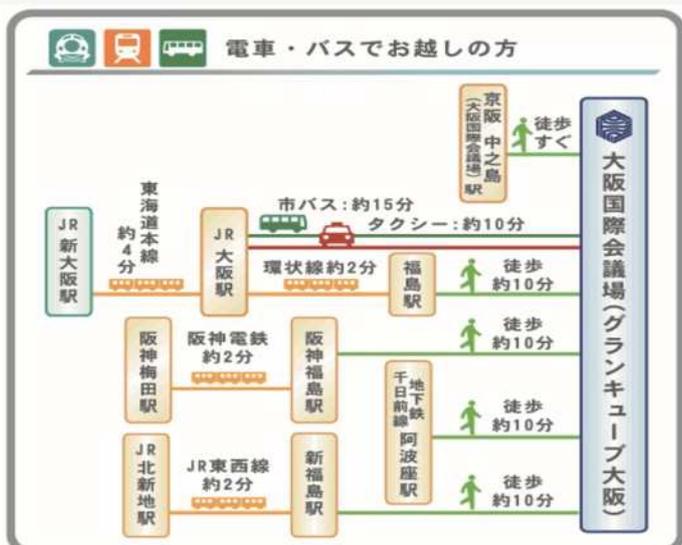
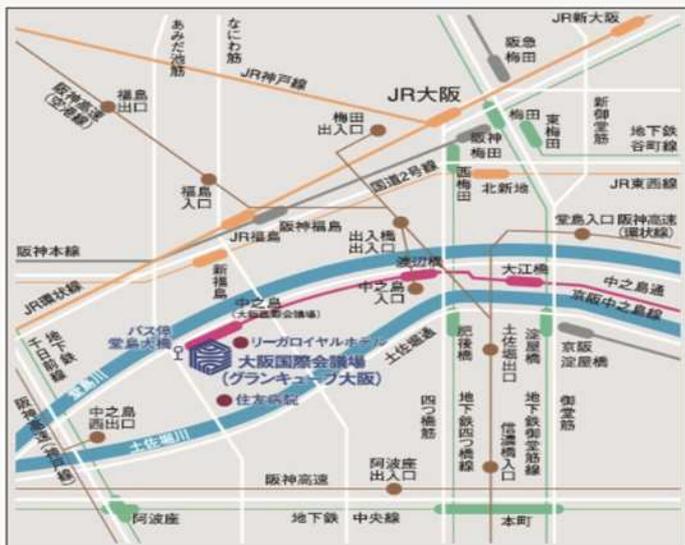
※参加申込方法は裏面を御覧ください。



子どもの事故防止合同研修会

消費者ホットライン188イメージキャラクター

アクセスマップ



※シャトルバス
[「リーガロイヤルホテル」](#)（当会議場東隣）とJR「大阪駅」西側（高架下）の間でシャトルバスを運行しており、ご利用いただけます。

お申込み ※お申込みは【先着順】とさせていただきます。 **申込締切：9月30日（月）**

※FAXの方は、下記の必要事項をご記入の上、このまま送信してください。 **FAX：088-621-2979**

※メールの方は、下記の項目をご記入の上、次のアドレスにお申込みください。

syouhisyakurashiseisakuka@pref.tokushima.jp

ふりがな	
お名前	
電話番号	
メールアドレス	
FAX番号	
所属名（団体名等）	

※ 御記入いただいた情報は、当該行事の参加者管理目的にのみ使用いたします。

お問合せ

徳島県危機管理部 消費者くらし安全局消費者くらし政策課 消費者行政推進担当
 関西広域連合広域医療局（徳島県医療政策課広域医療室）



※QRコードからのお申込みはこちらから